

第 2434 圖

かやつりぐさ科



まつかさすき

Scirpus Mitsukurianus Makino.

向陽ノ草原濕地ニ他草ト相交ハリテ生ズル大ナル多年生草本ニシテ稀疎ニ叢生シ直立シテ高サ1m 内外アリ。葉ハ稈ニ互生シ、狭長ニシテ廣線形ヲ成シ先端漸殺シテ尖リ長サ30-60cm幅6-10mm 許アリ、綠色平滑ニシテ質硬ク葉縁ハ糙澁シ、葉本ハ筒狀鞘ヲ成シテ稈ヲ包擁ス。稈ハ聳立シ平滑綠色ニシテ鈍三稜形ヲ成シ、秋ニ至テ梢葉腋ヨリ花梗ヲ抽キ、梗端ニ在ル小形葉狀ノ總苞數片ノ中點ヨリ更ニ出梗シテ一回分梗シ其小梗頂ニ長橢圓形ノ褐色小穂ヲ十數箇宛頭狀ニ簇聚シ其徑1.5cm 許アリテ小穂ハ長サ5mm 許アリ。穎ハ小形ニシテ赤褐色ヲ呈シ線狀披針形ニシテ短銳尖頭ヲ成シ背線綠色ナリ。瘦果ハ極メテ長ク且屈曲セル六本ノ子房下鬚ヲ伴ヒ、小形ニシテ狭倒卵形ヲ成シ稍壓扁セラレ先端嘴ヲ成シ黃白色ヲ呈シ、花柱ハ三岐ス。種名ハ記念ノ爲メ著者ノ箕作佳吉博士ニ捧ゲシモノナリ。和名松毬すきハ其團集セル各花穂ノ狀ニ基キナリ。

第 2435 圖

かやつりぐさ科



こまつかさすき

Scirpus fuirenoides Maxim.

向陽ノ平地或ハ山足地ノ濕處ニ他草ト相交リテ生ズル多年生草本ニシテ稈ハ叢生シテ直立シ瘦長ナル三稜狀圓柱形ニシテ高サ60-70cm 許アリ、平滑綠色ニシテ質硬シ。葉ハ稈ニ互生シ狭長ナル線形ニシテ先端漸次ニ狭ク尖リ質剛クシテ邊緣糙澁シ、下部ハ筒狀鞘ヲ成シテ稈ヲ包メリ。秋ニ至テ稈梢ノ葉腋ニ短梗ヲ出シテ一回又ハ二回分岐シ、其梗端ニ小穂相集リテ頭狀球形ヲ成シ徑1cm 内外アリ。小穂ハ長サ4mm 許、長橢圓形、生時暗綠色ヲ呈シ乾ケバ濃褐色ニ變ズ。總苞葉ハ小形葉狀ヲ成シ狭線形ニシテ下部ハ擴張ス。穎ハ廣披針形、銳頭、縁綠色。瘦果ハ六本ノ長キ子房下鬚ヲ伴ヒ、扁平倒卵形黃白色ニシテ先端嘴ヲ成シ、まつかさすきノ者ヨリ一倍半以上大形ナリ、花柱ハ三岐ス。和名ハ小松毬すきニシテ姉妹品ナルまつかさすきヨリ小形ナレバ斯克云フ。

第 2436 圖

かやつりぐさ科



あぶらがや

一名 なきり・かにかがや

Scirpus cyperinus Kunth var. concolor Makino.

(=S. concolor Maxim.; S. Wichurai Boeck. var. concolor Ohwi.)

山原山足等ノ濕地ニ生ズル大形ノ多年生草本ニシテ叢生シ、往々巨株ヲ成シ、下ニ鬚根ヲ叢出ス。葉ハ稈ニ互生シ大ナル線形ニシテ漸次ニ尖リ長サ40-60cm、幅1cm 許アリ、質稍硬ク綠色ニシテ表面光澤アリ、下部ハ長鞘ヲ成シテ稈ヲ包メリ。稈ハ高く直立シテ眞直、鈍三稜形ヲ成シ光澤アリテ黃綠色ヲ呈ス。秋ニ至テ稈梢ノ葉腋ヨリ細長ナル長短不同ノ數梗ヲ出シ、各更ニ數回分枝シテ小梗頂ニ二乃至三ノ小穂ヲ集メ着ケテ略頭狀ヲ成シ、小穂ハ卵狀長橢圓形鈍頭ニシテ茶褐色ヲ呈シ長サ6-9mm 許アリ。穎ハ小形ニシテ長橢圓形ヲ成シ先端尖リ暗褐色ヲ呈ス。瘦果ハ長クシテ屈曲セル六本ノ子房下鬚ヲ伴ヒ、扁平三稜ヲ成セル長橢圓形ニシテ先端短嘴ヲ成シ黃白色ニシテ、花柱ハ三岐ス。此一品ニこあぶらがや (forma karuisawensis Makino = S. cyperinus Kunth var. karuisawensis Makino = S. karuisawensis Makino) アリ、全草稍小形、花穂稍疎ニシテ開繖スルコト少シ、小穂ハ密集シ略半球形ノ頭狀ヲ呈ス。又シテあぶらがや (forma cylindricus Makino) アリ、小穂長クシテ簇集ス、和名 油がやハ花油色ヲ帯ビ且油臭アレバ斯克云フ、なきりハ或ハ菜切り乎其葉張サセシ葉ヲ以テ菜蔬ヲ切ルニ非ズ乎、蟹がやハ多分小兒其葉ヲ以テ蟹ヲ釣ルニ用ウルヨリ云フ乎。漢名 刺草 (誤用)

あいばさう

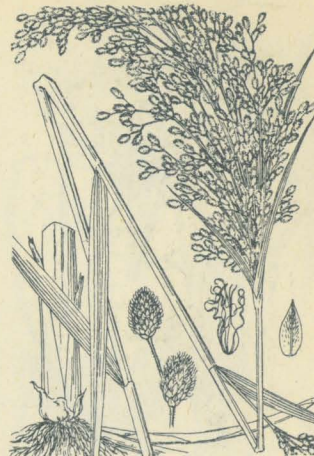
Scirpus cyperinus Kunth var. Wichurai Makino.

(=S. Wichurai Boeck.; S. Eriophorum Michx. var. nipponicus Franch. et Sav.)

諸國山足山間等ノ濕地ニ生ズル大ナル多年生草本ニシテ高サ1m 以上ニ達シ株ヲ成シテ下ニ鬚根ヲ叢出ス。稈ハ高く聳立シ強硬ニシテ鈍三稜柱形ヲ成シ綠色ニシテ平滑ナリ。葉ハ根生シ并ニ稈ニ互生シ廣線形ニシテ末長ク尖リ幅1cm 内外ヲ算シ、質剛韌ニシテ綠色ヲ呈シ表面平滑ナレド葉縁ハ糙澁シ、稈上ニハ三四片ノ葉アリテ下部ハ長鞘ヲ成シ稈ヲ包メリ。秋日稈頂ニ大ナル花叢ヲ出シ黃褐色ヲ呈シテ一方ニ臈キ傾キ、小穂ノ長サ4-6mm 許アリ、穗狀あぶらがやニ酷似スレドモ小穂ハ何レモ單立シテ廣圓體ヲ成シ、側方ノ者ハ長柄アルヲ以テ區別シ得ベシ。瘦果ハ廣橢圓形ニシテ壓扁セラレ平滑ナリ。野外ニ往々本品トあぶらがやト中間品アリテ小梗上ニ有柄無柄ノ小穂ヲ混生ス、之レヲあひあぶらがや (var. intermedius Makino) ト云フ即チ間油がやノ意ナリ。和名あいばさうノ意著者トニハ不明、是レ伊勢ノ方言ナリト云フ蓋シ元來ハあぶらがやヲ含メテ呼ブ名ナラン。

第 2437 圖

かやつりぐさ科



えぞあぶらがや

Scirpus cyperinus Kunth var. Eriophorum O. Kuntze.

(=S. Eriophorum Michx.; S. Wichurai Boeck. var. borealis Ohwi.)

向陽ノ山原或ハ山麓ノ濕地等ニ生ズル大形ノ多年生草本ニシテ株ヲ成シテ下ニ鬚根ヲ叢出ス。葉ハ基部ノ者根生シ稈上ノ者ハ互生シ長大ニシテ廣線形ヲ成シ末漸次ニ尖リ硬質平滑ニシテ綠色ヲ呈シ葉縁ハ糙澁シ、稈上ノ葉ハ其下部長鞘ヲ成シテ稈ヲ包メリ。稈ハ高く直聳シ頂端ニ苞葉ト大ナル花穂ト有シ花穂ハ多數ノ小穂ヲ着ケテ往々一花穂ニ臈ケリ、概形あぶらがやニ酷似シ、秋月其小穂ノ赤褐色ヲ呈スルモ亦相同ジ、然レドモ小穂ハ長サ3mm 許ノ球形 (あぶらがやニ在テハ長サ6-9mm 許) ニシテ且通常二乃至四箇 (あぶらがやハ二乃至三箇) 簇生ス。瘦果ノ狀等あぶらがやト相同ジ。和名蝦夷油がやハ初メ北海道産品ニ對シテ命名セラレシヲ以テえぞノ名アレドモ、今ハ更ニ本州・四國并ニ九州ニモ亦産スルコトヲ知ルニ至レリ。

第 2438 圖

かやつりぐさ科



わたすげ

一名 すずめのけやり・まゆはきぐさ・かやな Eriophorum gracile Koch.

我邦中部以北ノ山原向陽濕地ニ生ズル多年生草本ニシテ疎ニ叢生シ往々群ヲ成シテ葉茂シ、根ハ鬚狀ナリ。葉ハ少數ニシテ短ク傾細長ニシテ溝ヲ成シ三稜形ニシテ先端鈍頭、稈上ノ葉ハ下部長キ鞘ヲ成シテ稈ノ下部ヲ包メリ。稈ハ細長綠色ニシテ直立シ三稜柱形ヲ成シ高サ35-50cm 許アリ。七月稈梢ニ繖形ヲ成シテ長短不同ノ二三枝ヲ分チ數箇ノ小穂ヲ着ケ開花シ果時ニハ梗頂ビテ點頭ス。總苞葉ハ二片アリテ長サ2-3cm 許、葉狀ニシテ下部擴大セリ。小穂ハ長サ1cm 許ニシテ橢圓形ヲ成ス。穎ハ廣卵形鈍頭ニシテ灰黑色ヲ呈シ、穎内ニ三雄蕊アリテ葯ハ穎外ニ超出ス。瘦果ハ鈍三稜狀狭線形ニシテ灰褐色ヲ呈シ、柱頭ハ三岐ス。子房下鬚ハ多數アリ花後伸長シテ3cmニ達シ、穎ノ脱落後モ尚存シテ恰モ白色ノ綿絮ノ如シ。和名ハ綿すげノ意ニシテ其果穂ノ白毛ニ基キシ稱ナリ、此名ハ明治十三年發行ノ『博物館物品目録』ニ出デ、雀ノ毛槍ヲ二肩刷毛名ノハ明治十三年發行ノ『小石川植物園草木目録』ニ出ヅ、かやなハ其葉かや (芒) ノ如クレバ云フ乎、なハ菜乎。

第 2439 圖

かやつりぐさ科

